

第2回 校内授業研 5年生《国語科》

単元名:文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう「宿泊学習の報告文につなげよう」

☆事後研で話題になったこと☆

○「トークタイム」を設けたことで、自分の考えや思いが明確になったり、広がったりした。また、その時に話したことを文字にするため、「書く」ことに苦手意識がある子どもも、抵抗なく、安心して書くことができた。「それはどんなこと？」等の問い返しもあり、深まっていた。

→その後の振り返りでも、自分のピース・仲間のピースの中で、「トークタイム」で友だちと「話す」ことの効果を実感している子どもがたくさんいた。（「書きたいことがはっきりした。」「〇〇さんと話していたら、」）

○授業に関わる家庭学習での予習が効果的だった。

→活動のイメージができているので、要旨をまとめることにじっくりと取り組めた。教師は、個々の実態に応じた支援の手立てをいくつか準備し、効果的に活用していた

○授業前の音読、授業中での板書の文や自分が書いた文等を声に出すことを意識させていた。家庭学習でも音読をしている。

→音読の効果があり、本文の内容をしっかりと理解して話し合ったり、考えを書いたりしていた。

▲「筆者の考えに対する自分の考え」について、子どもたちの捉えはどうだったか。構成の工夫について書いていた子もいた。

→筆者の主張、要旨に目を向けさせるためにも、「共感」「納得」「疑問」の観点を、「トークタイム」の前に出すとよかった。

▲筆者の考えに対する自分の考えは、自分の「見立てる」ことの類似体験だけではなく、「見立てることは、生活や自然に深く関わっている」ということを理解している子どもに発表させ、学びを共有させるとよかった。（筆者の主張の中心）

☆「宿泊学習の報告書」のテーマに関わる並行読書を行ってみるのもよいのでは。例えば「勇気」「仲間の大切さ」を伝える本。

☆助言者より☆

《指導主事より》

・学級の強み「学ぼうとする意欲」「自分の言葉で表現しようとする力」を大切にしていってほしい。

・いつも意識したい授業を振り返る視点「子どもたちが夢中になっているか」

そのために…（本時で見られたこと）

①学習環境のデザイン→単元計画・総合の学習とのつながり、ゴールのモデル等の可視化、読書環境

②学びのデザイン →目的意識と相手意識、本時の付けたい力と言語活動、振り返りの視点

・目標と評価の一体化 →子どもに書かせる文や作品を、教師が実際に書いて基準をもっている。

・「音読のよさ」「要旨のよさ」を実感できる学び →「学習する意味」を子ども自身が感じて学ぶ。

☆「深い学びの実現に向けて」チャレンジしたいこと☆

・国語科で身に付けた力を他の教科や生活面に生かしていく。

→今回：テーマ・主張が明確で、構成の工夫を生かした報告文「宿泊学習で学んだこと」を書く。（総合）

・他の学年や、職員、家族などにも、学習の成果や過程を発信していく。

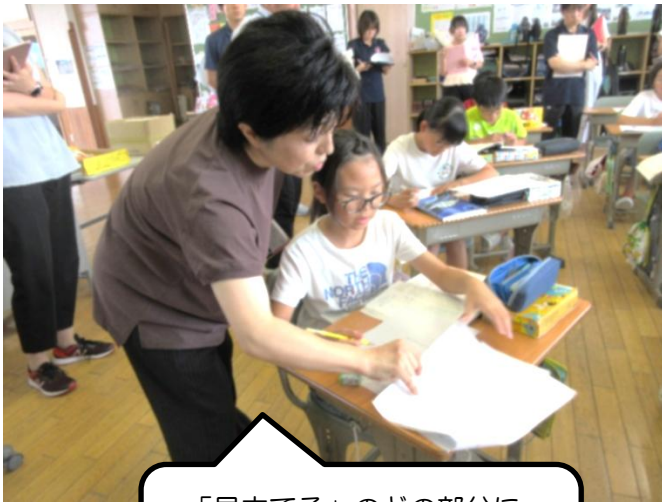
・子どもたちが主体的に学びたいくなるような目的意識や相手意識をもった言語活動を、効果的に仕組んでいく。

・汎用的な付けたい力を軸に単元デザインをする。また、そのゴールの姿を具体的にイメージし、具体物や活動を共有する。

☆研究主任より☆

今回の授業研では、「要旨」をとらえることをつけない力として設定し、国語科と総合的な学習の時間の学習とを関連させて、単元をデザインしていました。学習の課題が子供たちにとって「書きたい！伝えたい！（伝えなきゃ！）」というものになっていたことから、子供たちの学習への主体的な姿が見られたように思います。また、授業者が子供たちの実態を適切に把握しているからこそその「ヒントカード」や「学習の足跡（掲示）」などの支援は、まさに「個別最適な学び」につながっていました。自分の力でやり切る達成感を感じさせる上で、必要不可欠な手立てであると改めて感じました。

前回の授業研から引き続き、指導者側であらかじめゴールの成果物（今回で言えば宿泊学習の報告文）を作成することにしました。それにより、その手本が子供たちにとって単元のゴールへの見通しにつながるだけでなく、指導者側が指導する上でどんな声掛けや支援が必要かを実感しながら、単元をデザインすることにつながることができました。実際に自分で「書いてみる・話してみる」ことで、より子供たちの実態に沿った単元のデザインが可能になるのだと改めて感じました。ぜひ、以降の授業研は もちろん、日々の学習の中でも大切にしたい考え方だと思います。授業提供ありがとうございました。



「見立てる」のどの部分に
筆者の主張があっただろう？



ヒントカードをもとにして、自
分の力で主体的に「書く」姿が
見られました。



自分と友達の要旨のまとめ方の
違いに、自然に気づく姿も見ら
れました。

